



竹資源による

自然と経済の循環セミナー

竹資源の有効活用事例を紹介します

日時: 10月13日(金) 13:00~18:00

場所: **KSRP** 北九州学術研究都市
Kitakyushu Science and Research Park
会議場メインホール

〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの2-3

事前申込制 (定員200名)



★申込は右記QRコードから

- ・ 特別講演
福岡大学 工学部 社会デザイン工学科 佐藤 研一 教授
(竹イノベーション研究会BIG 代表)
- ・ 事例紹介
エシカルバンブー : エシカルなモノづくり 田澤 恵津子社長
三和技巧 : “竹害”を転換する技術 梅林 勲社長
若竹の杜 若山農場 : 筍、竹材、観光等統合事業 若山 太郎社長
京都大学 地球環境学堂 : 竹構造農業用ハウス 小林 広英教授
- ・ パネルディスカッション 座長 九州工業大学 安藤 義人准教授
- ・ 竹製品展示、パネル展示、情報交換会 (名刺交換会)

【総合監修】 九州工業大学大学院 生命体工学研究科
グリーンマテリアル研究センター 安藤 義人准教授

主催: 北九州産業学術推進機構 共催: 北九州市、竹イノベーション研究会 BIG

【問い合わせ先】 (公財) 北九州産業学術推進機構 産学連携センター
TEL: 093 (695) 3006、3011

講師等の紹介

● 佐藤 研一 氏

(福岡大学 工学部社会デザイン工学科教授、竹イノベーション研究会代表)

専門は地盤・舗装工学であり竹は専門外であるが、竹を砕いて土と混ぜた竹チップ舗装材を開発したことから竹との縁が始まる。以来、竹に関する質問が多く寄せられるようになり、竹で困っている方や情報を求めている人が多いことに驚いた。それらを解決する手助けにと、竹に関心がある企業、NPO（非営利組織）、個人を募り、2012年に竹イノベーション研究会を立ち上げた。竹の利活用技術の情報交換などを行うセミナーやフォーラムを行っている。現在の会員数は200を越える。

● 田澤 恵津子 氏 (エシカルバンブー(株) 代表取締役社長)

高校卒業後、大手百貨店や大手総合商社を経た後にSONY、外資系ヘルスメーカー、㈱博報堂など大手企業にて広告宣伝やマーケティングを担当。

2006年 フリーのプランナーとして独立

2008年 竹繊維開発開始

2016年 エシカルバンブー(株)を設立、現職

その後、山口県防府市の自社工場にて竹洗剤の製造販売をスタート。

2020年には宇部市に竹の総合施設「竹Labo」、抗菌剤工場、国産竹繊維工場を設立。

2021年には林野庁との戦略的技術開発実証事業の取組が評価され、経済産業省より「ゼロエミ・チャレンジ企業」に認定される。

● 梅林 勲 氏 ((株)三和技巧 代表取締役)

『三和グループ』は、地球規模での環境問題への貢献はもとより、日本のインフラ構築と維持に於いて、インフラ構造物をはじめ、護りたいモノを「永く護る技術」で、日本のサステナブルに、そして極力壊さない循環型社会に貢献すべく、常に全力を尽くして取り組んでいる。

「環境&地域経済のW循環」をテーマにした“竹セルロースナノファイバー(CNF)”の研究開発・製造を行っている。

● 若山 太郎 氏 (若竹の杜 若山農場)

運営する「若竹の杜 若山農場」は、宇都宮市北部にて親子三代にわたり自然循環型農法を心がけ筍と栗を中心に作り続けている。また、近代的な都市空間に竹の植栽を進める第一人者として、日本唯一の竹専門ナーセリーでもある。

見渡す限りに手入れのされた圧巻の竹林が続く当地では、多くの映画やCMなどのロケ地として使用され、映画『るろうに剣心 伝説の最期編』、『キングダム KINGDOM』や、椎名林檎「いろはにほへと」のプロモーションビデオが撮影され話題となった。それをきっかけに竹林を観光資源として一般開放し収穫・工作体験はもちろんのこと夜間にはライトアップした竹林を楽しめる施設として話題である。

● 小林 広英 氏 (京都大学 大学院地球環境学堂教授)

1992年京都大学修士課程修了、英国留学の後、1993年より設計事務所勤務。2002年の大学院地球環境学堂設立とともに京都大学で実践的研究活動を開始。地域に根ざす設計技術・環境デザイン、地域文化・風土と人間居住の相互作用のテーマに取り組み現在に至る。

現代社会における竹材の用途開拓として、セルフビルドの竹構造農業用ハウスを製作試行したことをきっかけにバンブーグリーンハウス・プロジェクトに取り組む。